

既知の問題（Known Issues） — SUMO24

日本Dynamita株式会社 / Known Issues, SUMO24

1. 以前のバージョンの Sumo で保存されたプロジェクトのうち、次の初期濃度シンボルが変更された項目：
 - エンタルピー（`H_0` → `SH_0`）
 - 蓄積ポリヒドロキシアルカン酸（`XPHA_0` → `XPHA,PAO_0`）
 - 蓄積グリコーゲン（`XGLY_0` → `XPHA,GAO_0`）については、Sumo24 では新しい初期濃度シンボルへ自動的に読み込まれません。既定値と異なる場合は、手動で値を更新してください。
2. 生物膜系ユニット（MBBR、MABR、BAF、グラニューラー SBR、散水ろ床）の場合は、シミュレーション制御パネルで **Accurate（高精度）** ソルバー設定を使用することを推奨します。
Fast（高速） 設定では、生物膜最下層における不活性成分および難生分解性の粒子状成分について異なる結果となり、組成に 10% を超える差が生じる場合があります。
3. 場合によっては、Sumo4N モデルで **Fast** ソルバー設定を用いた定常状態解が局所解となることがあります。妥当性確認のため、動的入力と制御器を**無効化**した状態で **Accurate** 設定による動的シミュレーションを実行し、結果の安定性を確認することを推奨します。
4. モデル内で配列を使用するユニット（PFR、PFR セグメント、HPO、生物膜系ユニットなど）は、要素数が 4 を超える場合、pH 計算を伴うシミュレーションの速度が低下することがあります。
5. **TOOLS** タブで計算に Custom variable（カスタム変数）シンボルを使用している場合、モデルをコンパイル・実行した後の変更は慎重に行う必要があります（例：入力空気流量 `Qair_NTP` の場合）。この場合、`Qair_NTP` を別の有効なシンボルに変更しても、モデルの再ビルドは自動的に実行されません。必要な再ビルドを実行させるには、タブ名を別の名前に変更してください。これにより再ビルドが開始されます。
6. 一部のプロセスユニットの属性が変更・拡張されました。カスタムプロセスユニットを 24 へ移行する際は、正しく動作させるためにこれらの変更へ対応する必要がある場合があります。詳細は当社の Wiki ページをご覧ください：

https://wiki.dynamita.com/en/custom_code_update